



悪魔のぬくもりに溺れる

：神父さま。
私の罪の告白を
聞いてください。



懺悔します。
俺は…
人を殺しました。

…でも、おかしいと
思うかも
しれませんが、
どうやって殺めたのか
覚えていないんです…

だけどその場には
俺だけしか
居なかつたので…

…きっと
やつたのは…
自分で…

カリラリ

えっ

：待つていろ、
今そちら側に
行く



!?

孤児だと
言つていただろう



神父さまは
皆に兄と呼ばれ
とても慕われていた

孤児院で暮らせるのは
原則15歳までで、
その後は自立を求められる

そうして孤児院の
子どもは
入れ替わり続ける

だけど神父さまは、
15歳を過ぎた俺を
修道士として側に置いた

禁欲的な生活は、
送つていない











子ども達に
見つかりそうに
なったのが
背徳的過ぎたか？



懺悔を
しなさい







父のように慕っている
神父さまと身体を重ねて
愛されることは、
麻薬のような中毒性のある
幸福感で満たされる

神父さんは自分を
育ててくれた
唯一の存在で、全てだ

しかし、
その神父さまの

怖いと思う
最近では

きっかけは
突然だつた



神父さまと触れると
何故か痛みが
走るようになつた

神父さま…
きっと教会の
中だろう





…スター

シスター

はつ

…どうしたの?
最近元気ないね

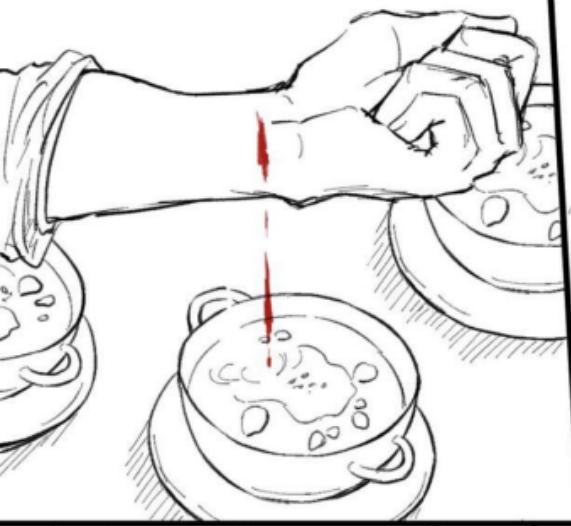
あ…

ありがとう、
ごめん朝食
準備してくる

皆に
声掛けといで

…神父さま？

。。。



あんなの見たら
食べたくない

悠仁、どうした
食欲が
無いのか？

何も食べない
のは体に
良くない

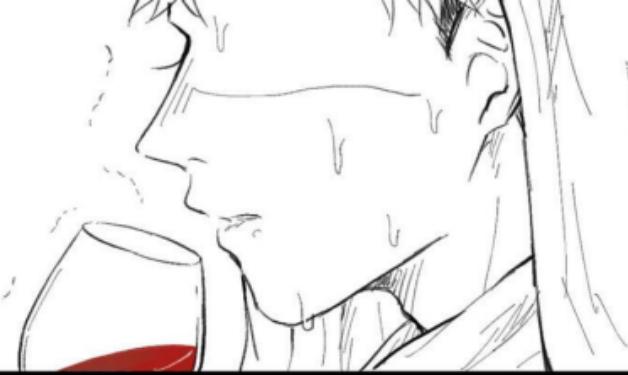
スッ

せめてこれを
飲みなさい

…これ、は…？

…ザクロの
ジュースだ

飲みなさい



神父さま、
愛しています

だけど俺を
どうする
つもりなのか

今はただ
貴方が怖い





…んうッ！

セイ
セイ

触らないで！

神父さまっ

嫌つ

ッやめろって!!

痛い！

お前つ…悪魔なんだろ!?
俺に…触るなよ!
痛てえんだよ!

つもう…俺は…
神父さまに
触れねえよつ…!

もう二度と
愛し合えないん
だよ…つ!

…そ、うか…
もう、駄目か…

毎日食事に
俺の血を混ぜ
摂取させてきたが…

もう隠せないな

こちら側に
引き込むことは
無理だつたか：

悠仁

悪魔なのは
お前の方だ

えつ…

昔、お前は
人を殺したと
懺悔しに来たな

あの時悠仁は、
俺の仲間の
天使に殺される
ところだつたんだ

あれは悠仁を
助けるために
俺が殺したんだ

なんで…
仲間を殺してまで
俺を助けたんだよ…

じやあ…
出来なくなつた
俺を…今度こそ
殺すの？

：一目見て
悠仁に
惹かれたからだ

…まさか

あの後今度は
悠仁の方から
俺の元へ来たた

運命だと
思つたさ

神父さまの

俺が悠仁を
殺すわけが
ないだろう

悠仁を愛しているんだ
悠仁の為なら
俺は全てを捨てられる

…だから

あっ…



俺が
悠仁の元へ
堕ちる

しんぶさま、
シスター

学校
行つてくるね

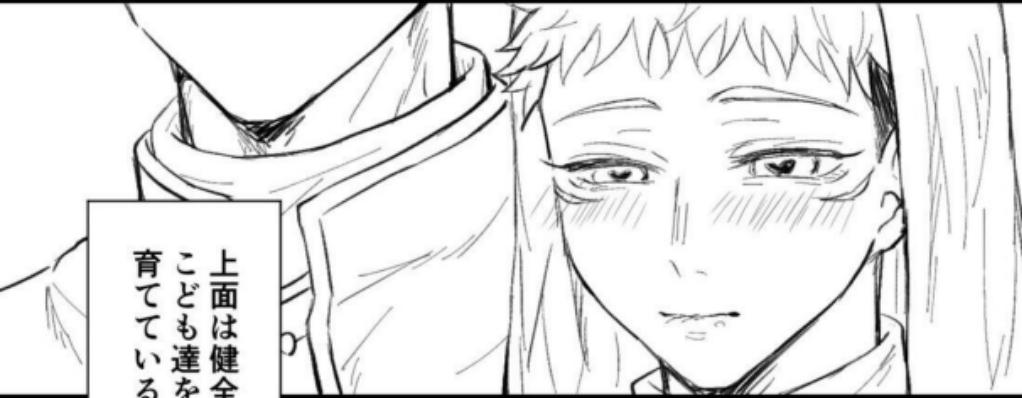
いってらっしゃい

氣をつけて



上面は健全に
こども達を
育てている聖職者

しかし
その一方で



二人きりになると
相も変わらず
性行為を
繰り返している





聖職者とは思えないほど
ふしだらで、不健全な、
淫らに爛れた生活を
送っていることを

誰も知らない

神下さま

ああ
このまま

溺れ
続けたい

end



悪魔のぬくもりに溺れる
蜜蠍のぬくもりに溺れる